

第8回

東北大学感染症共生システムデザイン学際研究重点拠点

SDGS-IDセミナー

「感染症」 × 「情報」 × 「社会科学」

2021年12月24日（金） 12:00-13:30



【 Zoom 】 参加無料

参加登録

<https://forms.gle/pek9s2jaoNBQuKC98>
登録締切：12月23日（木）15:00迄



<プログラム>	12:00-12:05	オープニング
	12:05-12:25	講演 1
	12:25-12:45	講演 2
	12:45-13:20	質疑・総合討議
	13:20-13:30	ラップアップ



講演 1

「計算社会科学の手法によるCOVID-19研究」

瀧川裕貴（文学研究科 准教授）

近年、ビッグデータや機械学習、自然言語処理の手法を社会科学分野に応用する計算社会科学という学問分野が新たに成立し展開をみせている。COVID-19関連の社会科学的研究でもこの手法が用いられつつある。本講演では、COVID-19対応に関する社会科学の考え方の特徴と計算的手法の有効性を議論した後、COVID-19と社会関係、行動変容と社会的属性の関連、インターネットメディアにおける感情表出などのトピックに関して講演者自身が行ったCOVID-19関連の計算社会科学的研究を紹介する。



講演 2

「地理情報科学によるCOVID-19研究」

中谷友樹（環境科学研究科 教授）

感染症の流行の地理学的研究については、地図学的なデータ解析を含めて古くから多様な展開がなされてきた。COVID-19の流行に際しては、流行の早い段階からデジタルな地図による流行推移の把握や人の位置情報を利用した感染症対策、さらにはその影響の地域差を把握する解析などで、これまでになく大規模な地理情報処理が進められてきた。本講演では、COVID-19流行に関する地理学的なデータ解析の視点を解説するとともに、今後の感染症対策に関わる地理情報の活用について考察する。



東北大学感染症共生システムデザイン学際研究重点拠点（SDGS-ID）

■拠点Web：<http://www.sdgs-id.med.tohoku.ac.jp>

■お問合せ：sdgs-id@med.tohoku.ac.jp